

村山龍平 りゅうへい 新聞人。嘉永二年四月二日伊勢國生れ、昭和八年十
 一月二十四日歿（二五〇—一九三）。幼名直輔、真木太。號平春遠、玄庵、
 香雪。明治十一年上野理一等とて大阪朝日新聞』の創業に参劃、十四
 年社長。二十一年『のどま』新聞』を買収して『東京朝日新聞』と改
 題。四十一年大阪・東京兩社を合併して合資會社とし、更に大正八年
 株式會社に改組して社長に就任。衆議院議員（普選二回）、貴族院議
 員も務めた。

著書『朝日會館紀念講演集』（合著、大正十五年十一月）『大正
 朝日新聞社』（村山字雄著、『歌道 神風文伊勢の海』（附録 露園長歌集、
 明治長歌集、
 村山家家譜）』（編、昭和八年十一月十五日刊）等。